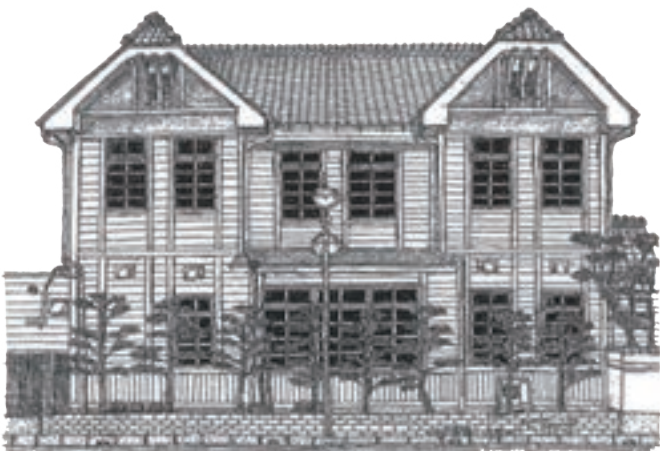


「人・食・味を豊に」



第86期中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

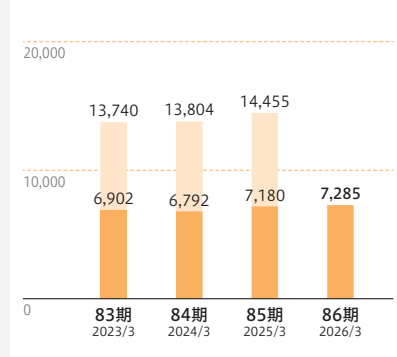


ユタカフーズ株式会社

証券コードNo.2806

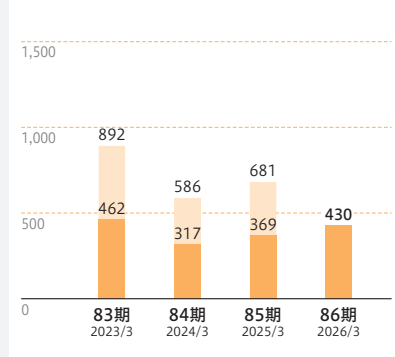
売上高

(単位：百万円)



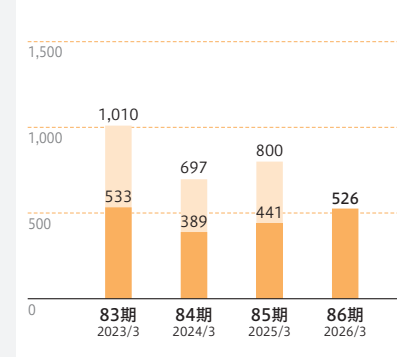
営業利益

(単位：百万円)



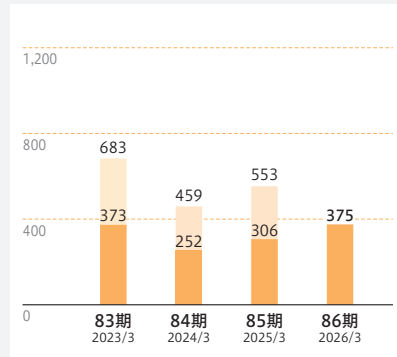
経常利益

(単位：百万円)



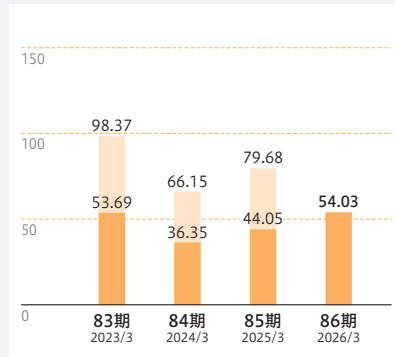
中間(当期)純利益

(単位：百万円)



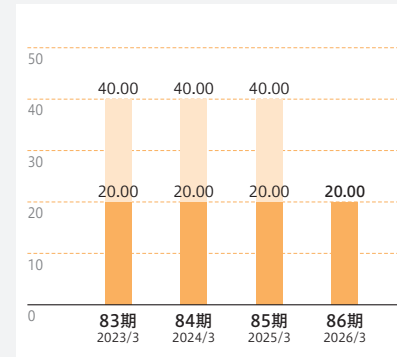
1株当たり中間(当期)純利益

(単位：円)



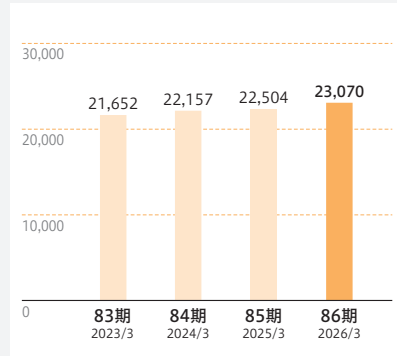
1株当たり配当金

(単位：円)



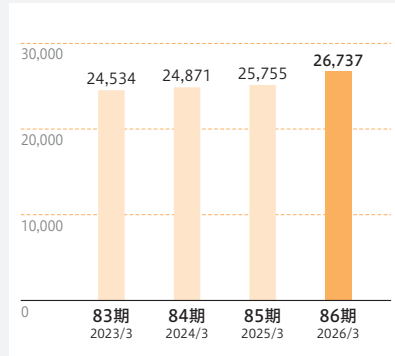
純資産

(単位：百万円)



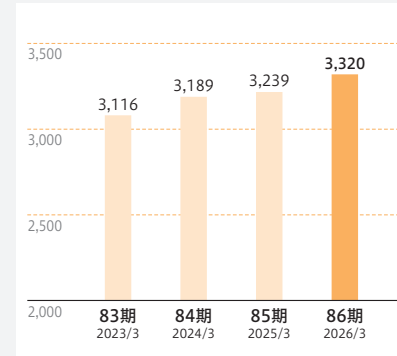
総資産

(単位：百万円)



1株当たり純資産

(単位：円)



ご あ い さ つ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第86期中間会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の営業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

代表取締役社長 **橋 本 淳**



当 中 間 期 の 概 況

当中間会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や、雇用・所得環境が改善され、景気が緩やかに回復をみせる一方で、中東情勢の緊迫化、米国による追加関税の影響など不確定要素が多く、国内においても長引く物価高による消費者の購買意欲の停滞、人手不足による供給制約など景気の下振れ要因が多く、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、継続する物価上昇による消費意欲の減退、より一層食への安心・安全に対する関心が高まるとともに、原材料価格や燃料費の高騰は続くと思われ、

厳しい経営環境が継続していくと見込まれます。

このような状況の中で、当社は新たな3つの基本方針を柱とする2026年3月期からの中期経営計画を策定しており、基本方針に沿った取り組みを実施することで、売上拡大、収益基盤の強化、持続的成長を目指してまいりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は7,285百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益は430百万円（前年同期比16.6%増）、経常利益は526百万円（前年同期比19.3%増）、中間純利益は375百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

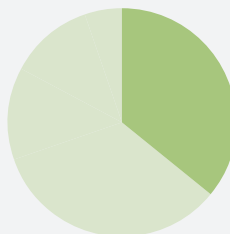
液体部門

液体部門は、鰻のたれや、即席麺等の添付スープの売上が伸び、売上高は2,632百万円(前年同期比7.5%増)となりましたが、原材料費の上昇の影響が大きくセグメント利益は95百万円(前年同期比17.8%減)となりました。



■売上構成比

36.1%



■セグメント売上高

(単位:百万円)



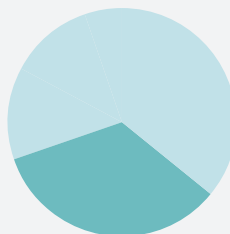
粉体部門

粉体部門は、顆粒製品の受託が伸び、売上高は2,461百万円(前年同期比8.4%増)となり、セグメント利益は169百万円(前年同期比67.0%増)となりました。



■売上構成比

33.8%



■セグメント売上高

(単位:百万円)



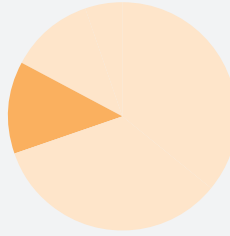
チルド食品部門

チルド食品部門は受託が前年並みに推移し、売上高は949百万円(前年同期比1.5%減)となり、セグメント利益は151百万円(前年同期比15.7%増)となりました。



売上構成比

13.1%



セグメント売上高

(単位:百万円)



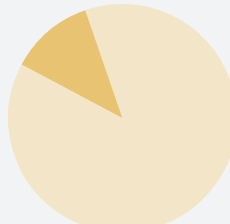
即席麺部門

即席麺部門は、受託製品が増加し、売上高は860百万円(前年同期比3.6%増)となりましたが、セグメント利益は6百万円(前年同期比52.1%減)となりました。



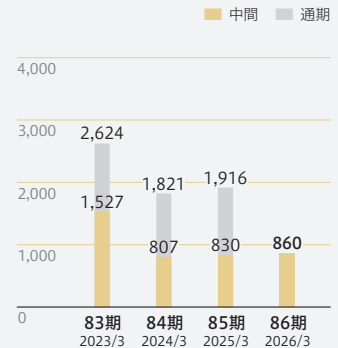
売上構成比

11.8%



セグメント売上高

(単位:百万円)



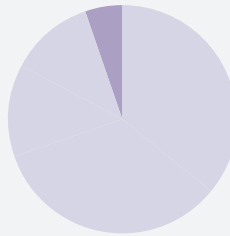
その他部門

その他は、水産物の取扱が減少し、売上高は381百万円(前年同期比42.6%減)となりましたが、セグメント利益は8百万円(前年同期比17.5%増)となりました。



売上構成比

5.2%



セグメント売上高

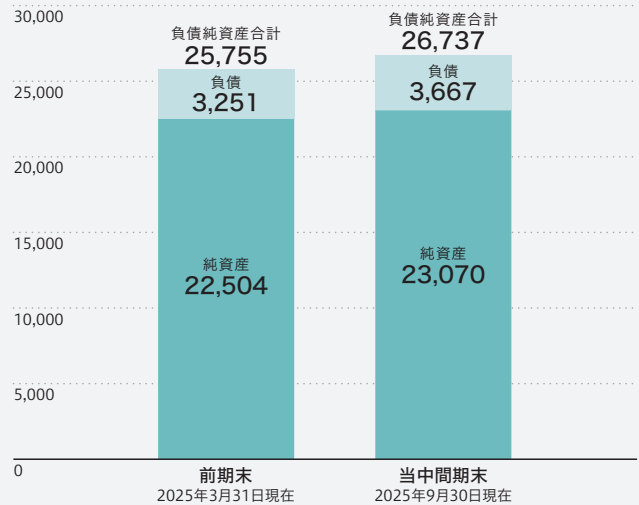
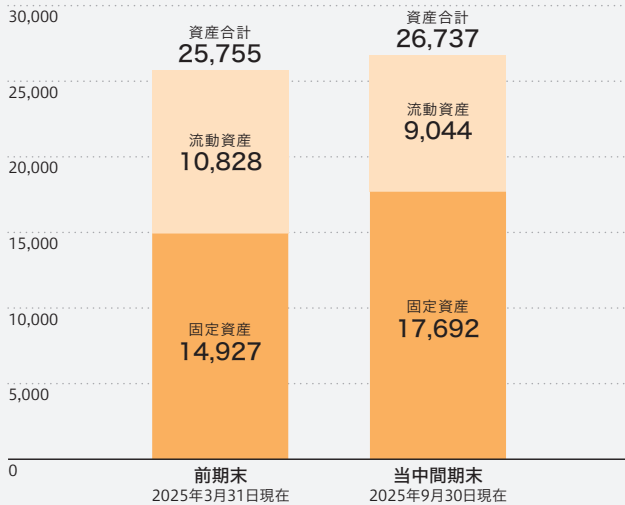
(単位:百万円)



貸借対照表の概要

(単位：百万円)

(単位：百万円)



財政状態について

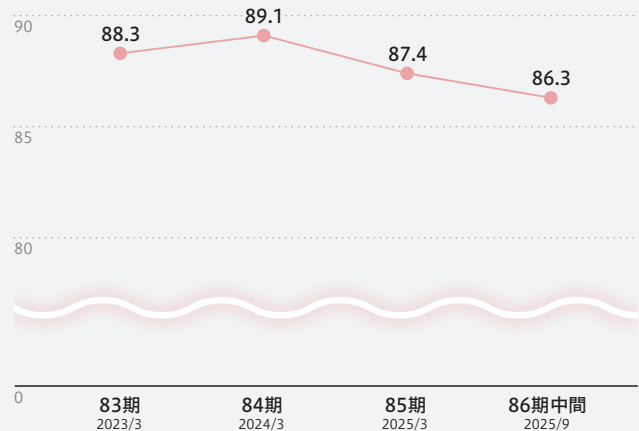
当中間会計期間末における資産の部は26,737百万円となり、前事業年度末と比べ981百万円増加しました。これは主に、建設仮勘定が2,511百万円、投資有価証券が477百万円増加し、現金及び預金が1,748百万円、建物(純額)が77百万円、機械及び装置(純額)が158百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,667百万円となり、前事業年度末と比べ415百万円増加しました。これは主に、繰延税金負債が136百万円、未払法人税等が19百万円、買掛金が38百万円、その他が217百万円増加し、役員賞与引当金が10百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は23,070百万円となり、前事業年度末と比べ565百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が236百万円、その他有価証券評価差額金が329百万円増加したことによるものであります。

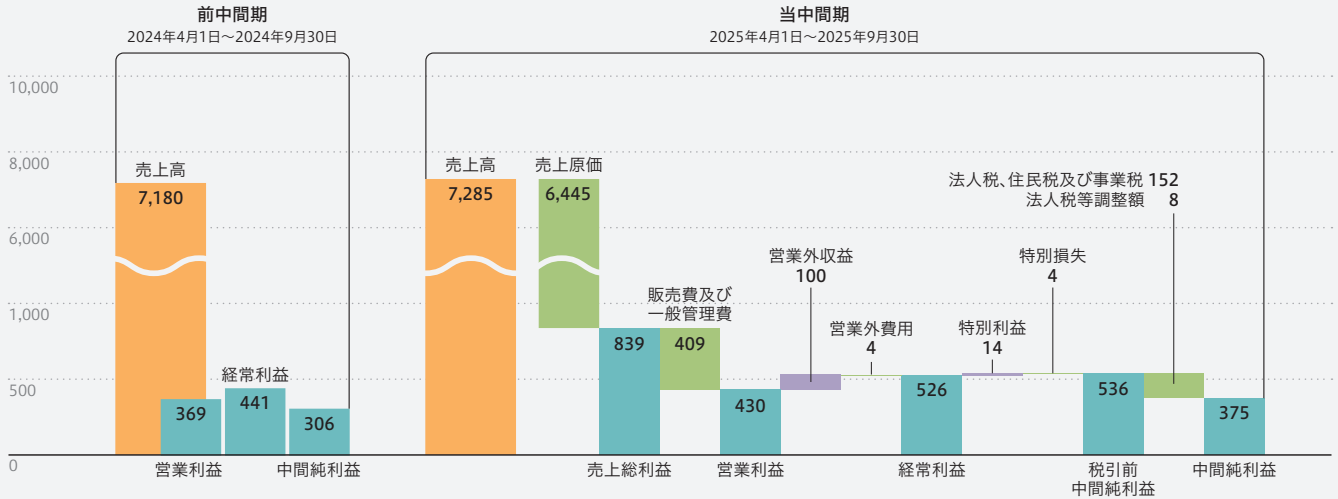
[自己資本比率の推移]

(単位：%)



損益計算書の概要

(単位：百万円)

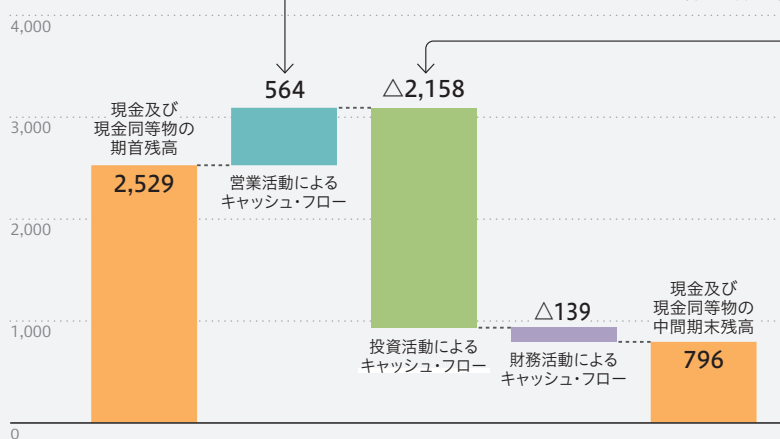


キャッシュ・フロー計算書の概要

当中間期

2025年4月1日～2025年9月30日

(単位：百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間会計期間において営業活動により得られた資金は564百万円となり、前中間会計期間と比べ166百万円(22.7%)の減少となりました。営業活動で得られた資金の主な要因は、税引前中間純利益536百万円、減価償却費281百万円による資金の増加、並びに棚卸資産の増加51百万円、未払消費税等の減少91百万円、長期前払費用の増加額53百万円、法人税等の支払額133百万円による資金の減少であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間会計期間において投資活動の結果使用した資金は2,158百万円となり、前中間会計期間と比べ590百万円(37.7%)の増加となりました。投資活動により使用した資金の主な要因は、有形固定資産の取得による支出2,170百万円、定期預金の払戻による収入43百万円によるものであります。

「だし取り職人」シリーズ

ご家庭のお好みに合わせて使い分けられる万能だしシリーズです。
だしパックをそのまま煮出すだけで簡単に本格和風だしができあがります。



だし取り職人

おすすめレシピ

おでん



800~1,000cc (お好みに調整してください)
の水に本品2袋を煮出し、煮えにくいものから
煮込んでください。

具材に味がしみ込んだら完成です。
お好みの具材でお作りください。

ユタカフーズ
オンラインショップアドレス

<https://yutakafoods.co.jp/shop/>

当社の概要

創 立	1944年10月21日
資 本 金	1,160百万円
本 社	〒470-2395 愛知県知多郡武豊町字川脇34番地の1
電 話	0569-72-1231(代表)
事 業 内 容	・市販用及び業務用の液体及び粉体等の製造販売及び受託製造 ・マルちゃん製品の液体、粉体、チルド食品及び即席麺等の受託製造

役 員

代表取締役社長	橋 本 淳
取 締 役	山 本 芳 明
取 締 役	大 茂 為 継
取 締 役	日 野 恵 美 子
常 勤 監 査 役	奥 田 裕 治
監 査 役	花 井 謙 造
監 査 役	中 野 晴 之

<https://www.yutakafoods.co.jp>

ユタカフーズ 検 索



事業所・工場



鳥取営業所／鳥取工場



東京営業所



本社／本社工場

株式の状況

発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式の総数(自己株式1,884,790株を除く)	6,947,521株
株主数	2,440名
単元株式数	100株

大株主

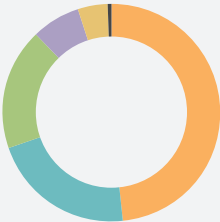
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋水産株式会社	3,533	50.86
VASANTA MASTER FUND PTE. LTD.	342	4.92
株式会社榎本武平商店	210	3.02
ユタカフーズ従業員持株会	199	2.87
MSIP CLIENT SECURITIES	188	2.70
株式会社あいち銀行	85	1.22
大樹生命保険株式会社	80	1.15
焼津水産化学工業株式会社	76	1.09
知多信用金庫	74	1.06
ダイナパック株式会社	55	0.79

(注)持株比率は自己株式(1,884,790株)を控除して計算しております。

株式の分布

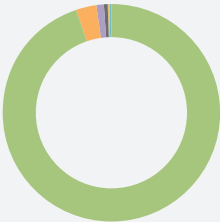
所有者別株式分布

その他国内法人	4,283千株	48.50%
自己名義株式	1,884千株	21.34%
個人その他	1,596千株	18.08%
外国人	637千株	7.22%
金融機関	396千株	4.49%
証券会社	32千株	0.37%

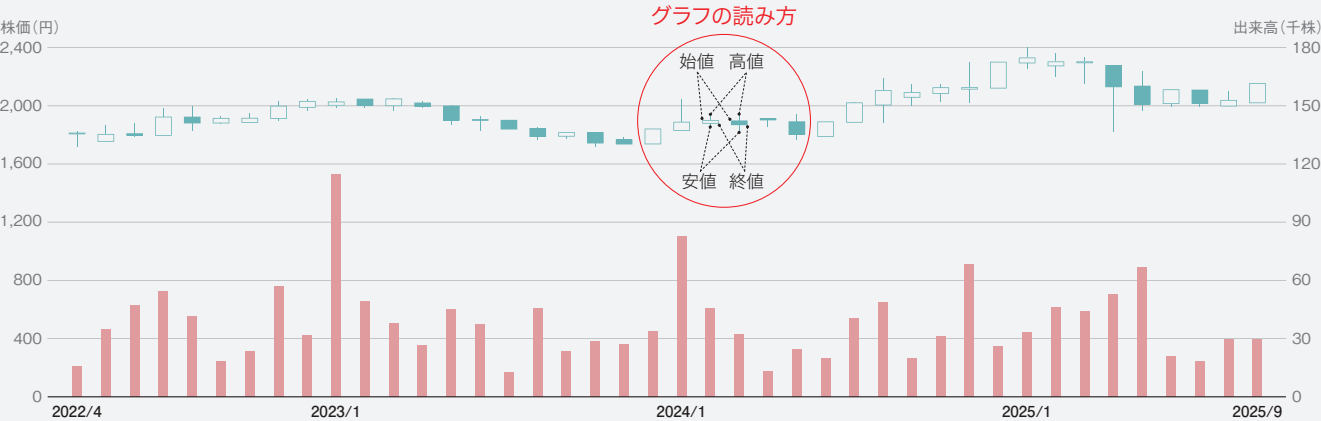


株主構成

個人その他	2,316名	94.92%
その他国内法人	74名	3.03%
外国人	23名	0.94%
証券会社	18名	0.74%
金融機関	8名	0.33%
自己名義株式	1名	0.04%



株価・出来高の推移



株主優待のご案内

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された100株以上所有の株主様へ、株主優待として自社製品を贈呈しております。

[100株以上500株未満] 所有の株主様

800円相当の自社製品

[500株以上1,000株未満] 所有の株主様

1,500円相当の自社製品

[1,000株以上3,000株未満] 所有の株主様

2,500円相当の自社製品

[3,000株以上] 所有の株主様

4,000円相当の自社製品

2,500円相当の自社製品詰め合わせ例



株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取について

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取を請求することができます。

当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」をご利用いただけます。

買取制度

例) …当社株式を120株保有の場合



配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株式に関するお手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	口座を開設した証券会社にお問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-782-031（フリーダイヤル）
単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
未払い配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話：0120-782-031（フリーダイヤル）	

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
[基準日] 定時株主総会・期末配当中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。